

Add-on Program 「多言語・多文化社会」

来年度開講「多言語・多文化社会論（実習）」の履修条件について

Add-on Program 「多言語・多文化社会」の修了証を取得するためには、来年度に開講される「多言語・多文化社会論（実習）」を履修する必要があります。

「実習」の内容は、外国につながる子どもたちに対する学習支援や外国人相談会への参加などキャンパス外での活動です。

「実習」の授業は1学期、2学期の両方で開講しますので、どちらか一方を履修して下さい。

「実習」の授業を履修できるのは3、4年生に限られます。

履修できる条件は3年生と4年生で異なりますので注意して下さい。

3年生の場合、「入門（4単位）」+「言語技能（2単位）」+理論部門の科目2コマ（4単位）=計10単位をそれまでに取得していること

4年生の場合、これに加えて残りの理論部門の科目と言語技能の単位を履修していること。
ただし、同時履修も認める。

< Add-on Program 「多言語・多文化社会」開講科目一覧および「実習」履修に必要な単位 >

部門	分野	単位数	3年生で実習を履修するのに必要な単位	4年生で実習を履修するのに必要な単位	授業開始年度
基礎部門 (入門)		(1学期)2単位			2006年度
		(2学期)2単位			
理論部門	歴史	2単位(半期)	うち2コマ(4単位)		2007年度1学期
	社会・文化	2単位(半期)			2007年度1学期
	法・政策	2単位(半期)			2007年度2学期
	言語とコミュニケーション	2単位(半期)			2007年度2学期
言語技能部門		(1学期)2単位			2007年度1学期
		(2学期)2単位			
実習部門		2単位(1学期または2学期)			2008年度1学期
プレゼンテーション部門		2単位(半期)			2008年度2学期
合計		20単位			

来年度以降「実習」の履修を希望される方は、上記の履修条件をよく読み、計画的に単位を取得しておくようにして下さい。



授業で得た知識を支援の現場で生かしてみよう！
(写真：外国につながる子どもへの学習支援活動の様子)